

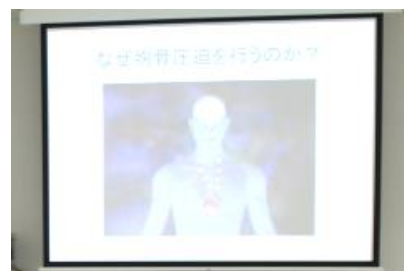
スポーツ救急 VRを使用した救命蘇生講習会 講座紹介

この講座では、心停止傷病者に対して対応できるように、心停止と判断し、119番・応援要請をして胸骨圧迫とAEDが使用できるように学び、練習。
会場には、救急車が2台並び、高機能マネキンをズラリと配置！少人数グループで練習できるよう準備。

講義

講義1は、胸骨圧迫の必要性や判断方法。「心室細動を起こしている心臓」「サッカー中に心臓が止まった瞬間」「死戦期呼吸をしている人」など貴重な映像もあり！

講義2は、緊急時の通報と対処方法について、コロナ禍での対処方法も含め、様々なケースについて学びます。



実習

VR動画では、倒れている人を見つけ、通報、対処、救急搬送するまでの臨場感ある動画を体験。
グループに救急医療学生がついて、参加者の胸骨圧迫とAEDの練習を丁寧にサポート。参加者からの質問にもどんどん答えていました。マネキンは、圧迫の深さや速さを測定してモニター表示されるので、どれくらいの力やリズムで押せばよいのか分かります。胸が上がって呼吸がわかったり、脈をとることもできる、最先端のトレーニング機材です。



参加者の声

- ・予想以上に専門的な内容、設備、知識を備えたインストラクターなど、最高の環境で講習を受けられて、大変感謝しております。ありがとうございました。(40代自営業女性)
- ・学生の方がとても丁寧に分かりやすく教えてくれました。志の高い学生で、とても熱心で応援したくなります。将来が楽しみです。ありがとうございました。(40代主婦)
- ・胸骨圧迫の力、リズムの適正がわかる人形を使わせていただき、より正しい力、リズムを学ぶことができました。ありがとうございました。(30代教員女性)
- ・もしもの時があったら、今日のことを生かして人を助けたいです。(男子高校生)
- ・心肺蘇生法は今までやったことがなかったから、もし目の前に人が倒れていたら何もわからず立っただけだった。今回の講習会を受けて少しでも人の命が救えるようにできるので、受けて良かった。(男子高校生)

※ 写真、参加者の声は、過去に開催した講座のものです。